**市政トピックス**

**防火防災ラッピングが施された大崎市民バスがお披露目されました**

　11月8日、大崎地域広域行政事務組合本庁舎の敷地内で、防火防災ラッピングが施された市民バスの完成式典が行われました。

　防火防災ラッピングは、秋の全国火災予防運動に合わせ、古川消防署が作成したものです。

　今回お披露目された市民バスの両側面には「街ぐるみ 防災・減災 火の用心」の標語に加え、大崎市のイメージキャラクター「パタ崎さん」や大崎広域消防本部のマスコットキャラクター「らいすくん」のラッピングが施されました。標語の「街」の文字の中には、大崎市をイメージした文字のほか、雨・川・風などの文字が挿入されています。自然は時として災害を引き起こす可能性があり、身近にその要因があることを知ってほしいとの思いが込められています。

　同日、火災予防の啓発イベント「消防ひろば」が開催されました。はしご車の搭乗体験や消火器・救急体験などが行われ、家族連れでにぎわいました。

写真：標語などのラッピングがされた市民バス

写真：はしご車の搭乗体験をする参加者

**「元気、笑顔、感動、スポーツフィールドおおさき」 世代を超えて交流を深めました**

　市では、世代を通じてスポーツに親しむことができる機会や場を市民皆さんと作り上げていくため、「大崎市スポーツ推進計画」を策定し、各種事業に取り組んでいます。

　その一環として11月15日、スポーツフィールドおおさき市民交流会（クッブ交流大会）を開催しました。

　「クッブ」は、スウェーデン発祥のスポーツで、木の丸棒を投げ合って木の的“クッブ（角材）”を倒していき、最後に、キングを倒す対戦型スポーツです。

　この日参加したのは16チーム約１００人。日頃、スポーツ少年団で運動に親しむ子どもたちや、地域活動に勤しむ高齢者など、幅広い年齢層の皆さんが、交流を深めながら真剣にプレーを楽しんでいました。

　クッブは、公園などで気軽に楽しめるスポーツです。皆さんも健康増進の手段として、いろいろなスポーツに取り組んでみませんか。

写真：ねらいを定めて エイッ！

写真：クッブを倒してみんなでエアーハイタッチ

**2020　11月の主な出来事**

|  |  |
| --- | --- |
| 3日 | ●大崎市表彰式 |
| 8日 | ●大崎市民バス防火防災ラッピング完成式典 |
| 15日 | ●スポーツフィールドおおさき市民交流会 |
| 18日 | ●環境審議会 |
| 20日 | ●第4回全国ササニシキ系『ささ王』決定戦2020 |
| 25日 | ●小中学生平和作文コンクール表彰式 |
| 27日 | ●大崎市議会臨時会 |

写真：古川商工会議所女性会から世界農業遺産のPRとして、おおさき宝大使 佐々木氏の作品「晩秋」が描かれたポストカードが寄贈されました。

**地域発　お・ら・ほ・の・ま・ち**

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみ愛着を感じませんか。

おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほのおいしい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント・・・。

そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。

**鹿島台発**

**マルセンファームの取り組みが全国準グランプリに選定されました！**

美しく活力ある農山漁村の実現のため、地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良事例を全国から選定する「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」を、内閣官房と農林水産省が主催しています。

　11月4日に行われた第7回の選定で、鹿島台地域の「有限会社マルセンファーム」が、全国794の応募団体（個人）の中から32の優良事例に選定されました。さらに、優良事例の中でも、特に優良な事例として、ビジネス部門の準グランプリ（部門賞）にも選定されました。

　マルセンファームは、昨年の令和元年東日本台風により、すべての施設が浸水しましたが、従業員を継続雇用しながら復旧を果たしました。デリシャストマト、米、菊やホウレンソウなどの複合経営による安定雇用の実現、そして、海外からの研修生の受け入れなどを通して、技術・経営など習得の場として、地域農業を支える取り組みが評価されました。

　選定を受け、マルセンファームの千葉社長は、「今回このような賞をいただき大変光栄に思います。どんな時も支えてくださったお客様のために、今後もおいしい商品を届けていきます。」と感謝と喜びの気持ちを話してくれました。

写真：とれたてのトマトに笑顔がはじける、マルセンファームの千葉社長

写真：これからも極上のトマトを皆さんにお届けします。

**松山発**

**ふるさと再発見～地域を歩く～**

　11月12日、まつやま訪ね歩きの会による、ふるさと学習会が開かれました。この日は、松山駅周辺の金ヶ崎・駅前二区・駅前中区・駅前区を実際に散策しながら、街並みの移り変わりや昔の生活のようすなどを、会員同士楽しく語り合いました。

　まつやま訪ね歩きの会は、平成11年4月に結成され、毎月定期的に開く学習会で、松山地域の歴史や芸術、民俗を学び、知識を深めています。また、その知識を活かし、松山地域の観光ボランティアガイドとして、さまざまなイベントや観光客に、たくさんの見どころを紹介しています。

　「駅前は結構広いんだね。やっぱり、歩いてみないとわからないね。」と、会員のみなさんはふるさとの街並みを再発見した1日となりました。

写真：駅周辺の歴史を熱心に学ぶ会員の皆さん